

研究サークル成果等報告書

1. 研究サークル名

東アジアソーシャル・イノベーション研究会

2. 研究サークル責任者名

新川達郎

3. 研究サークル活動期間

2025 年 5 月～2026 年 3 月

4. 研究会の趣旨と当年度の研究計画の概要

欧米だけではない SI の実践と教育研究を展望するため、東アジア諸国から学ぶとともに、比較研究を通じて、各国に固有の SI の発展を理解し、相互に学び合うことを目的とする。

今年度は、台湾の SI について、日本と台湾の研究者の交流を交えて現地調査を、2025 年 6 月に行った。また、2026 年 3 月には、本研究の共同研究者である韓国側のソウル国立大学チームと日本の離島沖永良部島における SI について、合同調査を行った。

5. 研究成果の概要（研究計画に照らして、何をどこまで実現できたか？）

台湾における SI が、国を挙げて支援をする政策方針の下で進んでいること、社会問題の多くが日本と共通していること、したがって、SI においても目的や方法において近しいが独自のアイデアによるものが見出された。

日本の離島における共同調査では、地域の特殊性と、一方ではそれゆえの豊かな地域資源が、イノベーションを触発して、多くの意欲ある人材を引き付けている状況がみられた。日韓においても若者の中にそうした人々が立ち現れてきていることが、日本と韓国の双方の研究者によっても確認できた。

6. 次年度継続の意向（※どちらかに○をつけてください。）

あり（○） なし（ ）

7. 研究費の収支報告（※必要に応じて表の行を増やしてください。）

日付	摘要	収入	支出	備考
2025 年 5 月	学会事務局から振り込み	5 万円		
6 月	台湾訪問先への手土産代 1500 円×12 個		1,8 万円	
2026 年 3 月	沖永良部島視察謝金、講演謝金、コーディネート謝金、現地設営費用の合計 28 万円の一部に充当		3.2 万円	
	合計	5 万円	5 万円	

